

yard による数値計算システムの構築

関西学院大学理工学部 情報科学科 西谷研究室 3550 江本早希

1 発表に準備しなあかんもん

1. abst(聞いて貰う人に渡す, わかりやすく, 思い出しやすいとか...), 一目で見てもらえる
2. power point(視覚的な資料) 時間軸
3. presentation しゃべり
4. 質疑応答, 目的, 具体的な作業, 最終目標

2 はじめに

(開発の背景) ruby で program を開発する際には, gem として配布することが最終目標となる. gem の生成は雛形を使えば自動で行うことができるが, 配布するには, 開発者向けの文書も作成しなければいけない. 文書作成のために yard があるが, 多くの対象者にむけての文書を作る必要があるため hiki2yard ではこれらの文書作成を容易にするコマンドの提供を目的とする.

2.1 Yard

yard とは ruby のドキュメントを生成をする gem[1]. フォーマットを用意することにより rdoc に比べ, 誰でも同じようなドキュメントを生成できるので可読性を高めることができる. 今は rdoc が主流になっているが, よりメンテナンスが容易になるという点で次世代を期待されている.

3 目的

ruby の gem directory は, すべての開発者がはじめてそのコードを見たときにも迷わないように, 決まった構造になっている. 特に, doc ディレクトリーは rubygems での document のデフォルトディレクトリーとして, wiki ディレクトリーは github のデフォルトディレクトリーとして用意されている. このディレクトリーに対して, それぞれの rubygems, github システムが operation を行い, 初めて利用するユーザーあるいは開発者に対して必要な情報を提供するように作られている. hiki2yard で目指すものも同じ. 決まった構造にすることで, hiki フォーマットで書かれた文書から, yard, wiki 文書を作る環境を自動構築することを目的としている.

4 手法

西谷研究室の先輩方が研究を進められていた, hiki から卒業論文等に使用するための tex 形式にする hiki2latex を参考に進めていく. gem の Rakefile を書き換えることで, 誰もが見やすく使いやすいコマンドを提供する.

5 進捗状況

hiki2yard 開発項目

- mathjax-yard 数式の表示
- hiki2yard() hiki から md で yard
- hiki2latex hiki から latex

6 課題

- mathjax-yard が未確認
- hiki2yard が変換できるようにできてない.
 - Rakefile の自動書き換え
- 役に立つかどうかの検証は可能ですか?

7 参考文献

1. <http://morizyun.github.io/blog/yard-rails-ruby-gem-doc/>

2016/08/ アクセス